

# 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例

〔霧島市立向花小学校〕

## 1 教科・単元名等

家庭科：5年 「 食べて元気！ご飯とみそ汁 」

〔第10時／全10時間〕の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

授業で学習したことや調理実習の振り返りを生かして、家庭での食事作りにチャレンジすることで、家族の一員として自分にできることを増やしたり、自分の身近な課題として捉えたりすることができるようにする。  
(「授業連動型家庭学習」【C】既習内容活用型)



## 3 授業における学習の展開 (9月5日(火)～10月2日(月))

### 授業「食べて元気！ご飯とみそ汁 ～ わが家のとっておきのみそ汁 ～」

- ・ 毎日の食事を振り返り、どのような物を食べているのか考える。
- ・ 伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作る。(調理実習)
- ・ 食事の役割や栄養バランスについて考える。
- ・ ご飯やみそ汁の調理で身に付いたことを家庭生活に生かす。



## 4 家庭学習の実際 (11月2日(金)～11月6日(月))

 <p>料理名【 飯と味噌汁 】</p> <p>だ し : だし み そ : 味噌 みそ汁の要 : 味噌、大根、油揚げ、ニラ</p> <p>&lt;工夫したところ・家族の感想&gt;</p> <p>&lt;工夫したところ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 朝から、10時間以上いりこで出汁を取ったところ。</li><li>・ 大根を薄く切って火を通りやすいようにしたところ。</li><li>・ 油揚げをたくさん入れて、美味しくしたところ。</li></ul> <p>&lt;家族からの感想&gt;</p> <p>鼻がたくさん入っていて、出汁がとてもとれていて美味しかったです。また作って欲しいです。</p>	 <p>料理名【 手作り味噌のあったか味噌汁 】</p> <p>だ し : カツオだし み そ : 手作り味噌 みそ汁の要 : 大根・油揚げ・ニラ</p> <p>&lt;工夫したところ・家族の感想&gt;</p> <p>&lt;工夫したところ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大根を多く入れた。</li><li>・ 最初にニラを多く入れた時にすぐ辛かったので減らしたところ。</li></ul> <p>(家族の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 出汁をちゃんとするすごく美味しかった。</li><li>・ しっかりとうま味が出てて、美味しかった。</li><li>・ 具沢山で、食べ応えがありました。</li></ul>
--	---

タブレットを持ち帰り、各家庭で作ったみそ汁の写真を撮って、ロイロノートで「感想カード」を作成する課題を家庭学習とした。

子供たちの感想には、「教えてもらいながら作った。」「味見を何度もした。」「青菜類は芯の所はしっかり洗うことを学んだ。」「出汁をとった後の鰹節と昆布の活用方法を知った。」など、家庭で実際に作ることで深まりのある活動になった子どもたちもいた。また、「次は違うみそ汁を作りたい。」といった次の取組への意欲をもつこともできた。

今後は、家族の一員としての自覚をもって、進んで家庭での調理やお手伝いに取り組んでほしい。

### 成果と課題

- ・ 感想カードに、「出汁」「味噌」「実」を記述するようにしたことで、「わが家のとっておきの」ということを意識して取り組んでいた。また、「工夫したところ」を入れたことでみそ汁作りを振り返ることができ、切り方や実の選び方等を考えながら作っていた。
- ・ 保護者からのアドバイスを基に応用を加えたり、教科書とは異なる出汁や実、調理方法に挑戦し、学習を深めることができた。
- ・ 家族に食べてもらい感想をもらうことで、家族の一員として自分にできることを取り組む喜びや家事の大変さを感じることもできた。
- ・ 家庭の状況に合わせた課題提示や保護者への周知、家庭の協力が必要である。



# 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例

〔霧島市立安良小学校〕

## 1 教科・単元名等

家庭科・自立活動：小学6年（知的障害特別支援学級）

「あなたは家庭と地域の宝物」 [第3時／全2時間]の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

家庭学習で行ったことをメモにまとめさせたり、タブレットで動画撮影をさせたりしておくことで、学校での振り返り（＝導入）に入りやすくする。また、次時の学習にもスムーズに取り組みやすくすることで、児童が安心して学習することができる。自分の考えをまとめて発表までの活動を深めることに十分時間をかける。  
（「授業連動型家庭学習」【A】Myデータ作成型）

◎ [授業における改善点・成果等]

4 授業の実際（2月6日（火）5校時）

### 家庭学習

これまで家庭科で学習したことを振り返って、できるようになったことを生かして、家族に感謝の気持ちを伝える活動をしよう。

1 いつ、誰のために、何をしたか、やってみた感想をワークシートにまとめてくる。

2 活動しているところを家族にタブレットで撮影してもらい、ロイロに保存しておく。

（「Myデータ」作成）

### 導入場面

1 家庭で実施したこととその理由を、簡単に発表する。

2 やってみたいの感想や家族の感想を振り返る。

ロイロにまとめたことを、友達が見やすく、自分が発表しやすいように工夫しよう。

◎ 家庭学習で、実際に体験したことを撮影したり、ロイロにメモしたりしていることで、スムーズに実践に取り組めた。

### 終末場面

5 振り返り

◎ ごはん茶碗を洗うときに、お米が茶碗にこびりついていたので、爪でこするなど工夫した。

◎ お母さんが毎日大変だなと思った。洗い物をするのは楽しかったのでまたやってみたいと思った。

事前に、家庭で何をするのかを確認し、実施する事でスムーズに授業を進めることができた。また、児童自身も落ち着いて、自信をもって活動に取り組むことができた。

・ タブレットを活用しながら、自分が活動したことと感想を発表する。

自分の活動を報告し合って、友達の発表を聞いて、自分の生活にも取り入れてみよう。

### 展開場面

3 ノートの例と見比べながら、どんなふうにもまとめたらよいか考える。

4 写真の配置の仕方なども、皿洗いの手順通りに並べ替えるなどして、発表しやすいように工夫する。

心のつながりを深めよう

1：いつ 令和6年1月30日（火）

2. やったこと  
後ご飯を食べた後の片付け（皿洗い）

3：考えたこと  
洗剤がけでは、汚れは取れないので爪でこすった。

4：やってみた感想  
皿を洗うのが楽しかったです。またやってみたいと思いました。



◎ 家庭でしたことを、写真で示して理由や手伝いをした感想などをうまくまとめることができた。

# 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例

〔霧島市立陵南中学校〕

## 1 教科・単元名等

理科： 2年 「 気象の観測 」

[第1時/全6時間] の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

生徒から提出された様々な種類の雲の写真を基に授業を展開することで、日常の気象現象と学習内容を関連付けさせるとともに、日頃は意識しないような雲に興味をもたせる。

(「授業連動型家庭学習」【A】マイデータ作成型)

## 3 家庭学習の指示内容 (10月26日(金) 1校時)

### 家庭学習

形や色が異なる違う種類の雲の写真を3種類撮って、ロイロノートで提出する。写真を撮る際は、肖像権やプライバシー等に留意するようにする。

## 4 授業の実際 (10月31日(火) 1校時)

### 導入場面

1 提出された雲の写真を班ごとに、雲の特徴を基に分類する。 ※家庭学習より

- ・ 形で分類できそう
- ・ 色でも分類できそう？

- ◎ 分類する写真の数が適度にあり、共通点などを基に分類しやすかった。
- ◎ 身近な場所からの写真について考えることで、学習内容に興味をもたせることができた。

2 学習課題を確かめる。

### [学習課題]

雲の種類にはどのようなものがあり、雲の種類と天気にはどのような関係があるのだろうか。

### 展開場面

3 雲の種類についてまとめる。

4 班で分類した写真を、学習内容を活かしてもう一度分類し、それぞれラベリングをする。

- ・ ひつじみみたいな形だから高積雲だ

- ◎ 自分で撮ってきた写真を用いることで、主体的に活動に取り組んでいた。
- 雲によっては、分類が難しいものもあり、全てを分類できなかった班があった。

5 雲の種類と天気の関係について班で話し合う。

- ・ 全体的に暗いからこの雲は雨が降りそう。

6 雲の種類と天気の関係について全体で共有する。

### 終末場面

7 本時の学習内容を活かして、学習課題に対応した本時のまとめを各自で書く。

8 まとめたことを全体で共有し、次時では雲だけではなく、気象要素と天気の関係について考えていくことを知る。

# 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例

〔霧島市立牧之原中学校〕

## 1 教科・単元名等

国語科：中学1年 「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」（書くこと）

〔第5時／全5時間〕の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

生徒が家庭学習において、事前に書こうとする内容を整理したり、考えをまとめたりして授業に臨むため、書く活動の時間を十分に確保でき、生徒の書いた内容を確認し、思考力や表現力の指導に時間をかけることができる。 「授業連動型家庭学習」【A】Myデータ作成型

## 3 家庭学習の指示内容（7月14日（金）6校時）

### 家庭学習（端末を持ち帰り、オンラインでロイロノートの課題に取り組ませる。）

夏休み課題の作文のテーマを決め、それを「はじめ」「中」「終わり」に分類したものをロイロノート上の資料に付箋紙で貼り、作文の構想を練る。（「Myデータ作成」）

#### 【付箋にまとめる内容】

- (1) 詳しい出来事について
- (2) それぞれの場面において、どんな気持ちになったか、どんな行動をしたか、何を伝えたいか

## 4 授業の実際（7月18日（火）2校時）

### 導入場面

- 1 考えた構想をペアごとに見せ合い、意見交換をする。**※家庭学習より**
  - ・ 分かりやすく矢印でつなげているのが良かった。
  - ・ 問いかけをいれているのが良いなと思った。
  - ・ 自分の作文に取り入れたいと思った。

- 2 学習課題を確かめる。

〈学習課題〉

構想をもとに、伝えたいことを書こう。

- ◎ ロイロノートを用い、意見交換や構想を練ることで、展開場面の主体的な学びにつなげることができた。

### 展開場面

- 3 自分の作文構想シートを見ながら、伝えたいことを具体的に書く。その際に、ロイロノートに付け加えながら書いていく。**※家庭学習より**

- 4 伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるにはどうすればいいか、ペアで意見交換をする。
  - ・ その時の会話や景色(情景)を加えると分かりやすい。

- ◎ 家庭学習での取組を生かしながら自分が伝えたいことをまとめ、より深めて書くことができた。

### 終末場面

- 5 4で出した意見を2～3人に発表させる。
  - ・ 「いつ・どこで・だれが・どのように」といった表現を用いるとよい。
  - ・ その時の会話や景色を書くとうい。

- 6 本時の学習を振り返り、学習のまとめを行う。

伝えたいことを読み手に分かりやすく伝える（作文を書く）には、その時の会話や景色(情景)を加えたり、自分の気持ちを述べたりしてまとめることが大切である。